

「物性研究」20周年記念特集

これからの物性物理

本誌「物性研究」は今年9月末で創刊以来、20年に達しました。その前身である「物性論研究」の時代も含めると実に40年にもなります。めまぐるしい時代の変遷の中で、本誌が長期間生き続けてきたことに当編集部では感概を深くしております。これも物性研究者の暖かい支持・御協力と、永年出版にたずさわってこられた方々の御苦勞のお陰と思えます。しかし一方、長生きすること自体が人生の目的でないのと同様に、その生き方が問題にされなければなりません。雑誌「物性研究」の歴史は我国物性研究の永い歴史の一定の反映であります。

そこで当編集部では、20周年を機会に、変化に富んだ物性物理の現状と未来を厳しく見詰め、あわせて本誌の発展の方向を探ることを目的として、「これからの物性物理」と題した特集を企画しました。これは広い意味での物性物理の未来に関して、物性研究者やその周辺の方々から意見を寄せていただき、本誌上で活発な討論を起こそうというものです。

8月末までに寄せられた御意見は下記の16通に達しています。物性物理の現状と未来に関して様々な評価がなされていますが、寄せられた御意見は真剣できわめて率直なものであると思えます。皆様の御協力に感謝すると共に、これらの御意見を生かすためにも、今後支持や批判の御意見を寄せていただき、活発な誌上討論が行われることを期待します。

また、「物性研究」誌のあり方に関しても率直な御意見をお寄せ下さい。

物性研究編集部

20周年記念特集目次

これからの物性物理としての生物物理	松本元	46
理論家のデザインによる物質作り	新庄輝也	47
「欠陥」の数理	北原和夫	48
発展系、脳、カオス	津田一郎	49
これからの物性物理について	川島利器	51
未開拓の2つの分野		
—「エントロピー的統一的自然像の確立」と「物性物理学史」	勝木渥	53
気になっていること	中山正敏	55